

稲城市議会 会派

起風会

き ふう かい

地域活動で汗をかき、現場から地域を変える「現場主義」 + 実現可能な解決策を提案し、実行に奔走する「現実主義」

**出来ない理由より
出来る方法を探す。**

今春を以って、2年間に渡り拝命した稲城市議会総務委員長の大役をお返しすることになります。特に自治会支援については、コロナ禍の中にあつたものの稲城市自治会連合会様はじめ多くの自治会の皆様よりご意見をいただき、最終的には「自治会を支援する条例を作るべき」と、全委員が一致して市行政に調査報告することが出来ました。この場を借りまして、心から感謝申し上げます。

コロナ禍の今しかできない課題解決を!

コロナ禍により地域行事・公的行事がことごとく中止・延期となり、毎年の恒例行事に忙殺される“今までの日常”が一変してしまった1年でした。思い通りの活動ができず、もどかしい面もありましたが、今しかできない、目の前の課題解決に「全集中」することに決め、次の3つに取り組みました。

①『マンシオン管理業務へのICT導入(施設予約・文書共有などの機能をシス

誠

昨秋には「濃厚接触者」の指定を受け、周囲の皆様にご心配かけました(PCRの結果は陰性)が、外出禁止の中で家族の大切さを再認識。これもひとつの体験と考えて市政への提案に繋げることが出来ました。コロナ禍初期には混乱する情報をまとめ、対応フローチャートを作り掲載したサイトを制作。皆様方にご利用いただきました。また、リアル開催が難しい子供食堂では協賛を募り、育児家庭に対し、協力飲食店(市内11店舗)で使える出来る割引券を配布。

中

②『災害対策本部設置を前提とした災害時初動対応手順の見直し』
③『コロナ禍の中でも実現可能なマルシェ開催方法の検討』
：どれもまだ道半ば(③に至っては着手したばかり)なので成果を出せているわけではありませんが、①では、紙と対面の業務をICT化することも大事なのですが、それと同時にICTが苦手な方、セキュリティに不安を感じる方が重要であることに気づ

従来なら行事で埋まっていた土日祝の空きを活用し、にわか農家に。田起こしから田植え、管理、収穫、美味しく食べるまで『稲城の稲』作りに従事。農家の皆様の苦勞を肌身で実感。JC活動では『令和復刻版稲城かるた』を担当。自肅の正月に、各ご家庭内での郷土愛育成を図りました。本紙が配布される前後には、今後の行事再開に向けた対策勉強会(感染症専門医・水野泰孝氏)も開催。出来ない、ではなく何なら出来るかを実践した貴重な一年、経験値上昇です。

かされました。
②では、「災对本部に大人数が集まって大丈夫か?」が見直しのきっかけでしたが「実際の災害時に役に立つのか」という視点で議論を深め、より実効性のある手順にすることができたと考えています。
③は地域活性化には外部からも集客できる目玉が必要との想いから、一年半前に成功したマルシェを再度開催できるように運営方法の検討に着手しました。「ピンチをチャンスに」の精神でコロナ終息まで取り組んで参ります。



令和3年1月1日朝。坂浜の天満神社歳旦祭参列後、若葉台を一望する丘の上にて撮影。



総合体育館に新設された「クライミングウォール」を視察。



田起こしでは「へっぴり腰」との噂も...



『稲城かるた』を通じ、稲城っ子達の郷土愛が育めたなら幸いです。



三女も無事卒園、この春からは小学生!

◆議員番号5番、中田 中 なかたあた(51歳)

都立科学技術大(現 都立大)卒→日本HP、日本IBM。第2子誕生を機に自然・教育環境の充実した稲城市に惚れ込み転居。若葉台ワルツの杜在住。平成20年に稲城市教育委員、平成23年に稲城市議会議員初当選、現在3期目。昭和44年6月生まれB型。ICT活用の推進、地域の防災力の強化、にぎわい創出による地域活性化を自ら実践しつつ提案中!

【役職・資格等】・稲城市議会議員(3期)・同 福祉文教副委員長・稲城市土地開発公社 評議員・稲城市消防団第八分団 班長・青少年育成若葉台地区委員会 顧問・若葉台夏祭り実行委員・若葉台防災協議会 事務局・若葉台ワルツの杜自主防災組織 本部長・若葉台ワルツの杜 防火管理者・若葉台ワルツの杜自治会 副会長・日本防災士機構 認定防災士、他



www.ataru-nakata.com

◆議員番号6番、鈴木 誠 すずきまこと(38歳)

昭和57年5月山形県生まれ、平尾はなぶさ幼稚園卒、法政大卒→(株)リクルートコミュニケーションズ(旧(株)RMC)正社員入社、住宅情報『SUUMO』を担当。市政史上男性最年少で稲城市議会議員初当選、現在3期目。妻子(娘3人)と親世帯の6人暮らし。

【役職・資格等】・稲城市議会議員(現職男性議員最年少)・総務委員会 委員長・稲城青年会議所 第41代理事長(わんぱく相撲行司/かえっこパザール オフショア)・稲城市消防団第六分団 分団長・稲城市バドミントン連盟男子代表選手・稲城まちかど楽友協会 理事・稲城楽しく第九を歌う演奏会実行委員長・共生型こども食堂クッチイナいなぎ 理事・自転車のまち 稲城 共同代表・東京都三市収益事業組合協議会 議員・平尾宅地分譲住宅自治会 事務局長・平尾杉山神社奉賛会 理事・林英臣政経塾 広報統括官・日本防災士機構認定 防災士・日本赤十字救急法救急員・関東総合通信局 陸上特殊無線技士、他



www.inagi.info

起風会に聞く

《インタビュー：守屋亮》

「まず「財政アラート状態」とはどういう状況なのか」

鈴木…コロナ禍は市民の皆様の所得減にもつながりました。前年の所得に比べて決められる市民税も当然減少することや、土地の課税標準額を据え置く等という『予期できなかった税収減』の一方、任意に節減できない義務的経費は増加傾向のため、大変厳しい状況である…ということですね。



本会議場も、委員会室も、『発言をする場所』は、飛沫防止のため全てにアクリル板が設置されました。議会以外の行事にも貸し出し活用する予定です。

中田…この状況下で「あれもやれ」「これもやれ」という予算要望は避けるべきであり、令和3年度予算には私たち起風会を含めた市議会6会派中5会派が『当初予算に対する会派要望書を市側に提出しない』という措置（たぶん初めてか？）を選択しました。要望するよりも、限られた財源の中

で合理的な判断基準や優先順位を付けて事業選定がなされているか、といった評価・チェックに集中すべきだという判断です。

鈴木…令和の時代は、昭和のような高成長は望めませんし、平成のように過去の遺産で生き永らえることもできません。過去の制約や慣習に縛られることなく新しい発想や技術を取り入れること。民間で出来ることは民間に任せ、行政は行政にしか出来ないサービスに集中すること。ヒト・モノ・カネといった限りある資源を有効活用して、持続可能な稲城市とすることだと考えて取り組みました。

具体的にはどのような提案、質疑をされたのか

中田…会派としてこだわっている点は3つあります。①中長期的な収支バランスと適正な受益者負担による「健全財政の維持」、②「ICT活用」による業務の効率化・教育の推進、③次世代の郷土愛を育む「世代循環型社会の実現」に向けた取り組みです。

鈴木…①「健全財政の維持」における状況認識や収入面については、コロナ禍等に伴う税収減・高齢化等に伴う義務的経費の増によって

アラート状態に至った経緯を確認し、市所有地等の資源を有効活用することによって「自治体自らが稼ぐ」ことを提言しました。また、財源不足を補う臨時財政対策債は市民の社会保障維持のためにはやむを得ないが、借金である以上、将来負担とのバランスが取れるかどうかを確認しました。

中田…支出の節減については、保育所の民営化の意義を確認しました。民営化により運営経費を国や都の補助金で賄えるので市の財政負担の軽減につながります。第三保育園の民営化は、短期的な費用削減効果は大きくはないですが、市の保育士のマンパワーを他の育児支援サービスに振り向けることが出来るので、新たなニーズへの対応も可能になります。また、私のライフワークでもある②「ICT活用」では、ITコンサルからのスキル・ノウハウの継承を効果的に行い、業務を委託業者に丸投げすることがないよう意見させていただきました。GIGAスクールポスター業務委託については昨年2学期に初めて配布した際のトラブル等への対策が十分なされているかを確認しました。



本年より稲城市議会もペーパーレス、タブレットを大活用！私自信も全ての議案をタブレットで行ないました。

鈴木…確かに、学校からタブレットが配布された直後に娘らと確認しましたが、聞いていた想定と違う仕様であったり、学校毎に運用方針が異なる等で当初は少し混乱しましたね（苦笑）

しかしICTが当たり前のように存在する社会を生き抜いていく子供達にとっては、必要なスキルを身に付けるよいきっかけになると思います。稲城市でも保育所等利用調整にAIを利用して時短や業務効率化を図るのですが、「ICTをどう使いこなせば役に立つのか」、を理解しておくことが重要だと思えます。

「まちづくり」が進展する稲城ですが、その点は

鈴木…最後の③「世代循環型社会の実現」にあたりますが、新たに発表される市歌は積極的に活用し郷土愛に資すること、カリフォルニア州フォスターシティとの姉妹都市提携はコロナ禍により直接的ではなくオンラインで進め国際交流を図っていく事を確認。

まちづくりが進む南山地域については、交通問題や公園・広場が不足していること等を取り上げました。組合の皆様方が暫定的な代替地や各対応に向け、前向きに動いて下さっています。

なるほど、そうした点を確認して賛成したと。次に東京五輪に対する考えは

中田…東京2020オリンピック・パラリンピックは、海外客を断念したものの、福島発の聖火リレーが全国を回っています。しかし、万が一、五輪が中止や再延期となった時に、五輪含めた各種イベントのキャンセル料を如何に最小限にするかが財政難時では重要だと指摘。勿論、開催するならば全力で応援しますよ！

五輪に向けて、ワクチンは状況好転に繋がるのか

鈴木…ワクチン第一便が稲城に届くのは4月26日週。個別、集団、施設の3パターンで65歳以上の方から5月以降に順次接種予定。強制ではありませんが、蔓延防止と社会不安解消に繋がることを期待しています。

最後に、今年は色々節目の年と聞いているのだが

鈴木…あの日、鶴住居の親戚は津波に流されました。その直後の市議初当選

以来10年という節目でもありません。幾度の選挙や離合集散により会派構成が流動的な中、起風会がずっと存続出来たのは初心を忘れず「現実主義・現場主義」を徹底し、挨拶活動等ではなく、市民の皆様と共に実働隊の一員として汗を流して来たからだとして確信しています。たった2名の最小会派ですが、「山椒は小粒でもぴりりと辛い」を地でいく、本気の行動を続けて参ります。

中田…まあ鈴木君は身体もデカイし、小粒じゃないけどね（笑）

我々と同様に高橋市政になってからも10年。今年は稲城市第五次長期総合計画の初年でもあるので、市長に対して想いのたけを問いました。「ほどよく田舎、ほどよく都会」な自然の豊かさや利便性を併せ持つ稲城市の良さに期待していること、消防や病院といった安心安全の根幹となる事業を自前で維持していることが成果につながっている、という答えが返って来て、「我が意を得たり」かと。

単独消防だからこそ地域密着で小回りが利くメリットは多く、市立病院があるからこそ市民の救命優先出来ることに強く賛同します。今後も風を起こすべく、精進して参ります。

HP ataru-nakata.com

HP inagi.info

